

銅 弱含みも品薄感で高値寄り

銅スクラップ相場は弱含み様子見の基調で推移している。直近は海外銅市況が4営業日続落した一方、為替の円安が進んだことで国内銅建値の下げ余地が縮小。ただ海外指標が9千ドルに反発するような材料に乏しく、足元は先安含みの気配だ。市中では年末期にも発生難はほとんど改善されず、上物スクラップを中心に品薄感が定着。品種によっては高値が付きやすい。

銅スクラップの市中実勢価格(関東地区)は、1号銅線が1,260~1,275円、上銅新切が1,230~1,245円、が下銅が1,130~1,145円、黄銅削り粉が855~865円見当。今週は為替の円安が進んだことを支えに、市中相場は同値圏の水準を保っている。



市中ではスクラップの荷動きが年末期にも低調で、直納問屋の多くが在庫の確保に苦慮。今月は銅建値が小幅な変動にとどまるが、スク

ラップの売り手は「相場が下がったとしても慌てて売ることをしない」(大手問屋筋)ため、建値が上昇しないうちは発生が停滞したままだという。

そうした中、1号銅線を中心に上物スクラップは「ナイモノ高」で上値に振れやすい商状。まとまった数量には1,300円超えの高値も伝わる。また輸出業者の間では、中国の春節(25年は1月28日から2月4日まで)明けに需要が高まることを見据え、積極的な集荷が散見。込み銅などは中心値が押し上がっている。

銅市況が弱含みの地合いにある中だが、市中では先行きの在庫確保を意識した取り組みが広がる状況だ。

銅市況が弱含みの地合いにある中だが、市中では先行きの在庫確保を意識した取り組みが広がる状況だ。

| | 17日前場 | 前日比(円/t) | 在庫量 | 前日比 | 前月平均 |
|-------------|-----------|----------|---------|--------|-----------|
| 銅 | 8,851.50 | -80.50 | 272,450 | -175 | 9,074.79 |
| 鉛 | 1,963.50 | -13.00 | 255,525 | -1,600 | 1,988.43 |
| 亜鉛 | 3,020.00 | -42.00 | 262,100 | -4,400 | 2,999.07 |
| アルミ | 2,497.00 | -46.00 | 670,025 | -2,500 | 2,583.19 |
| ニッケル | 15,380.00 | -210.00 | 161,718 | -3,468 | 15,740.24 |
| 錫 | 28,950.00 | -75.00 | 4,600 | -25 | 29,768.00 |
| 金(NY) | 2,662.00 | -8.00 | - | - | 2,657.28 |
| 原油(NY) | 70.08 | -0.63 | - | - | 69.54 |
| 銅TTS(円/ポンド) | 154.74 | -0.53 | - | - | 154.85 |

※金は1troy ounceあたり※原油は1バレルあたりの25年1月限※為替は日本時間12月18日のTTS

亜鉛建値 3千円続落 52万3千円

三井金属は18日、亜鉛建値を前回(15日)比1千円あたり3円下げの523円に改定した。12月の月間推定平均

は524.8円。これを受け、亜鉛スクラップの市中価格は1~2円がた値下がりがした。

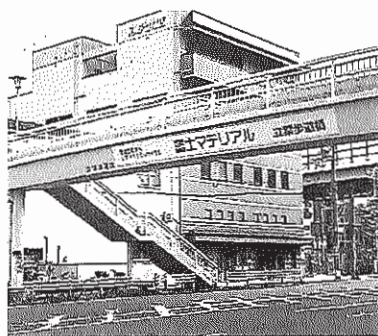
富士マテリアル、歩道橋の命名権を取得 知名度向上につなげる

(大阪)レアメタルやレアアースのリサイクル事業を展開している富士マテリアル(本社=大阪府大阪市、西尾一社長)はこのほど、大阪市と大阪市内にある歩道橋の命名権(ネーミングライツ)のパートナー企業として契約を結んだ。名称表示の工事は12月14日に完了している。通称名は「循環型経済へレアメタルのリサイクル 富士マテリアル 立業歩道橋」。契約期間は2024年12月14日から2027年12月13日までの3年間となる。

大阪市では、道路の維持管理に活用する財源資源を目的としてパートナー企業を募集している。今回、同社は大阪市と地域貢献に対する考えが合致したことから契約を結んだ。命名権を取得したのは立業歩道橋。所在地は大阪市浪速区立業2丁目、本社と物流拠点の大正工場・倉庫(大阪市大正区)の中間距離に位置する。交通量の多い主要市道となり、遠方や近辺などから訪れるさまざまな顧客の目に留まりやすいため、知名度の向上につなげていく考えだ。

命名権の取得について、同社のサポート業務を行っ

ている富士興産の赤嶺和俊社長は「富士マテリアルは10月に当社から分離独立したタイミングで、新会社のPRや業容に興味を持っていた。今後には当社から引き継いだSDGs経営によるサーキュラーエコノミーの実現を目指し、常に先を見据えた金属リサイクル企業として、地域に認知していただけたら幸いです」と話している。



命名権を取得した立業歩道橋

同社は富士興産(本社=大阪府大阪市、赤嶺和俊社長)から原料リサイクル事業を分離独立させ、分社化した新会社となる。業務は富士興産から全て引き継ぎ、レアメタルやレアアースのリサイクル事業を中心に展開している。